



お お せ ど つ う し ん

大世渡通信

第45号
【2023年4月】

〒734-0014 広島市南区宇品西2丁目6-27-6 Tel.082-250-8883 Fax.082-255-0006

■■この大世渡通信は私たちとご縁のあった方、ご縁をいただきたい方に差し上げている月一通信です■■

◆自社一貫制作体制になった経緯◆

こんにちは。中国地方の屋内外サインを自社一貫制作体制で承っております、広島市南区、(株)日本彫刻工芸、代表の大世渡(おおせど)です。大世渡通信第45号をお送りいたします。

さて、今回は私たちの「自社一貫制作体制」について、どういった経緯でその制作体制ができあがっていったのかを書かせていただきます。

その昔、私たちの看板制作の9割が外注でした。正確に言うと、父親がかつて彫刻を仕事にしていたときは全て自社制作でしたが、看板の仕事が多く入ってくるようになり、また、当時は呉という場所で人の採用も難しく、結果、外注がどんどん増えていきました。

私が25歳でこの会社に来て2年目のとき、父親に言われて税理士さんによる決算書報告会に初めて同席したのですが、そこで衝撃を受けました。外注比率が明らかに高すぎる。

当時、仕事はたくさんありましたが、最終的な収支はトントン。高すぎる外注比率が原因であることは素人目にも明らか。税理士の先生からもバランスがおかしいと指摘を受けました。

その後、私は技術を身に付ける修行のため2年間会社を離れます。職業訓練校で溶接などの基礎を学び、その後、全国でも大手の看板屋さんで技術を教えてもらい会社に戻ってきました。

そこから少しずつ社内制作の比率を高め、また、呉の工場は制作体制がそこまで整っていなかったため新しい場所を探し、現在の広島市南区宇品に移転しました。そこからは場所の力もあって、人の採用もできるようになりました。

あの衝撃を受けて以来、私は決算書の内容を良くするべく自社一貫制作を目指して頑張ってきたのですが、途中であることに気がつきました。それは、広島県内の同規模同業種で自社一貫制作体制を持っているところがないということにです。また、そこがお客様から選ばれている理由のひとつ、自社の強みになっていることにも気がつきました。

28歳で戻ってきた私も44歳です。これからも、自社一貫制作体制という強みを活かしながら、どんどん進化していけたらと思っています。



◆編集後記◆

今回もまた最後までお読みいただき、どうもありがとうございます！さて、蒲刈島でレモンなどの無農薬栽培をしている大世渡商会で、実は無農薬無添加の食品を取り扱うアンテナショップを6月1日にオープンすることが決定しました！場所はイオン宇品店のすぐ近く、ララペットクリニックさんの隣。そこで、オープニングスタッフのパートさんを3名ほど急募いたします！ご興味のある方がいらっしゃいましたら、私大世渡までご連絡いただければと思います。お待ちしております！

■■大世渡通信はいらないよという方は、大変お手数ですが082-250-8883までご連絡いただければと思います■■

【発行者プロフィール】

■名前:大世渡 英和(おおせど ひでかず) ■生年月日:1979年1月18日
 ■血液型:O型 ■出身地:広島県呉市 ■趣味:料理(食べ飲み歩きも好きです)、音楽(レコードを聴きます)、キャンプ、スノーボード ■家族構成:好奇心旺盛な私、高校時代から交際していた妻、誰に似たか秀才の息子(13歳)、天真爛漫な娘(11歳)
 【発行元】(株)日本彫刻工芸 本社工場 〒734-0014 広島市南区宇品西2丁目6-27-6
 Tel.082-250-8883 Fax.082-255-0006 Email:h-ohsedo@niccho.main.jp

蒲刈島でレモンを無農薬栽培。大世渡商会のインスタはこちら！



OHSEDOSHOUKAI